

本憲一，大木健一郎，大江昌嗣，笹尾哲夫，佐藤勝彦，佐藤弘一，柴田行男，祖父江義明，高木光司郎，武田英徳，為永辰郎，土佐誠，鷺見治一，横山絨一，吉田淳三，吉村宏和，第16委員会推薦者：赤羽徳英，岩崎恭輔

主な次期役員：() 内は委員会番号，副委員長：進士(4)，古在(7)，内田(12)，田鍋(21)，飯島(31)。組織委員：堀(7)，安田(8)，平山(10)，宮本(16)，須川(19)，弓(19)，大沢(25)，寿岳(29)，進士(31)，藤本(33)，森本(34)，小平(36)，北村(42)，早川(47)

書評

カラー天文百科

小平桂一 監修

(平凡社，B6 変型版，341 ページ，1,800 円)

本書はドイツ語で書かれた dtv-Atlas zur Astronomie を翻訳して、「日本の風土に一致させるための改訂補筆」を行ったものである。「初心者やアマチュアが，宇宙に関心をもって理論的あるいは実際の活動をしようとするときに重要となる事項に主眼」(原著緒言)をおいて書かれている。

内容は書名に恥じず，天文学の全分野にわたっている。すなわち，天文学史に始まって，球面天文学・天体力学などの古典的分野から，宇宙にある大小さまざまな天体

の物理学的研究の結果が紹介される。ロケットによる探索で明らかになった太陽系の天体の姿やパルサー，ブラックホールといった現代天文学の最先端の話題にもこと欠かない。小から大へ順を追って紹介されてきた宇宙の種々相は「宇宙論」に至って完結する。そのあと一転して地球から見える星空の話になる。ここでは四季の星空と全天の 88 の星座一つ一つが解説される。各星座の由来から，その星座に属する主な星の特徴，目立った天体などが紹介されていて，星空に対する興味を喚起される。さらに付録として平凡社の事典からとった約 500 項目の天文用語解説があり，巻末の索引とともに重宝である。

このような内容もさることながら，本書の特徴はそのユニークな本作りにあるといえよう。本文は原則として見開き 2 ページのうち左側はすべてカラーの図版に，右側が解説に当てられている。カラーの図版は大変わかりやすく，見ていて楽しい。現代感覚にマッチした構成で

わが国唯一の天体観測雑誌

天文ガイド

定価240円(〒45円) 77-2月号・12月27日発売!

●2月号のおもな内容

- ★土星の観測のシーズンになります。輪の傾きが小さくなってきて，土星らしくなってきました。にぎやかな冬の夜空で，静かに光っています。
- ★最近短焦点反射望遠鏡が人気を集めています。短焦点反射とはどんな望遠鏡か，良い像を得るためにはどう設計したらよいかなど。星野次郎さんが設計法を解説。
- ★星の民話をあなたもさがしてみませんか。お年寄から星の話を知るときにどんなことに注意したらよいか。
- ★太陽の活動について，天文台の小野実さんが解説。
- ★このほか，隕石③，日食旅日記，連星系めぐりなど。

天文年鑑77年版

毎年11月に発行されるアマチュア観測家のための天文現象案内です。

1月の空から12月の空までの案内のほかに，各惑星，流星，彗星，変光星，新星の一年間の予報と，76年のおもな天文トピックスがまとめられています。

カラー2ページ，グラビア8ページ，本文128ページ

●天文年鑑編集委員会編／B6判・400円好評発売中

天体望遠鏡製作 ハンドブック

5cm級の小型望遠鏡から20cm級の大形望遠鏡まで，木製部品の作り方から鉄工所への依頼法，図面のひき方までいろいろな工作法を，写真や図をつけて具体的に説明しました。巻末には観測小屋の自作法も加えました。

●川村幹夫著／B6判・280ページ・1,500円好評発売中

誠文堂新光社

東京都千代田区神田錦町1-5
振替東京7-6294 電話03(292)1211

ある。ただし、解説は小さい活字（本も小さい）がぎっしりつまっていて読みづらい。

最後に気になったことをいくつか挙げる。第一は誤り。年周視差の発見 1728 (p. 16 図A), 三鷹 30m 電波望遠鏡 (p. 25, なお鹿島にも今は 30m 電波望遠鏡はない), ギャラクシー間物質の密度が 1cm^3 当たり 10 原子ぐらい (p. 201)。第二はことばに関すること。地球の「境位」(原著緒言) とか、「無ギャラクシー帯」など (p. 200) とかは、耳なれない、あるいは日本語になじまない表現である。アソシエーションを「星落」とは土井晩翠でもあるまいと思わせられる。また「きたの」かんむり座は訳しすぎである。「地平線の上下を合わせた全尺」(p. 141) とはなんだろうか。そのほか、日本語としていかにも生硬な文章が散見される。第三は巻末の用語解説と本文との食い違い。これは星の距離や物理量には観測

者によって食い違いがあることを読者にわからせるためかもしれない。しかしそれは然るべき箇所の説明しておけばよい。ここは両方の出典を吟味して、より信頼できると思える方に統一した方が初心者やアマチュアに対して親切であろう。それにしても、パルサーの数の違いは大きすぎる。第四は「日本の風土に一致させるための改訂補筆」が不十分なこと。特別な意味のない北緯 50° のこと (p. 43 など) より日本にある緯度でのことを書くべきである。時のことでも「中部ヨーロッパで例をあげる」(p. 47) より日本で例をあげた方がわかりやすい。

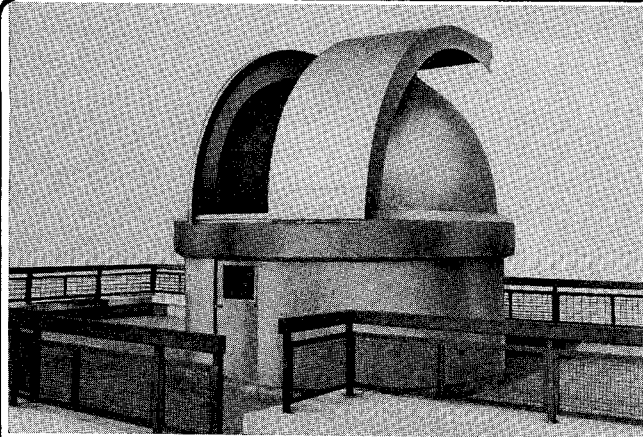
ここに挙げたことは趣味の問題もあって、すべてが本質的ではない。しかし、これらを直せば本書はもっとよくなるし、評者の気づかない部分に対する信頼感が増すことと思う。(佐藤文男)

学会だより

訃報: 本会名誉会員・京都大学名誉教授 上田 穰先生は、1976年11月13日午前9時10分に84才で逝去されました。謹んで御冥福を御祈り申し上げますと共に、会員諸氏に御連絡致します。

藤原賞受賞候補者推薦について

財団法人藤原科学財団より、第18回藤原賞受賞候補者を推薦されたい旨の依頼が学会あてにありました。適当な方がありましたら、庶務理事あてに2月15日までに御連絡下さいますようお願い致します。藤原賞はわが国科学技術の発展に卓越した貢献をされた方に賞2件(副賞金1千万円)が贈呈されます。



営業品目

- ★天体望遠鏡ならびに双眼鏡
- ★天体写真撮影用品及び部品
- ★望遠鏡各種アクセサリ
- ★観測室ドームの設計・施工



★総合カタログ
ご希望の方は切
手 300 円同封お
申込みください

ASTRO 光学工業株式会社



〒170 東京都豊島区池袋本町2-38-15 ☎03(985)1321